



いよいよ就職試験が始まります

体育祭も終わり、いよいよ決戦の時が近づいてきました。いくら準備しても、不安はぬぐいきれないもの。頑張れば頑張るほど不安は大きくなります。大切なのは「最後まで諦めない」こと。先生方、友達、そして家族、いろいろな人の力を借りながら、全力を出し切りましょう

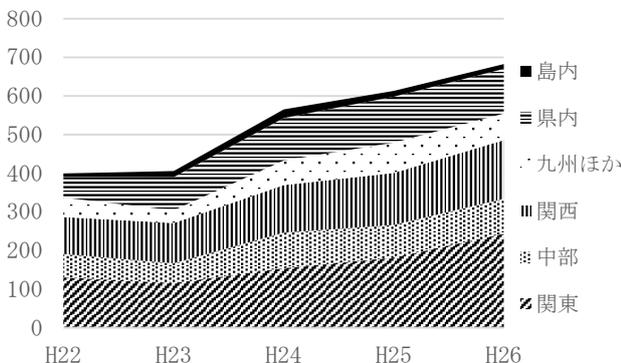
現在の進路希望状況 (9/5 現在)

就職希望者 57名	民間企業	県外	31名
		県内	13名
		島内	6名
	公務員・自衛隊など		4名
	縁故・自営・その他		0名
	未定・求人票待ち		3名

昨年に引き続き、県外企業への就職希望が多くなっています(希望者の54%)。応募書類の点検が終わった分から順に発送を行っており、これから試験日程等についての連絡が企業側から来ます。

求人票の到着状況 (9/5 現在)

年度	関東	中部	関西	九州ほか	県内	島内	合計
H26	244	90	152	68	116	12	682
H25	182	84	135	78	119	15	613
H24	155	91	123	64	110	22	565
H23	116	51	104	33	86	16	406
H22	131	60	96	50	54	8	399



ここ数年、求人票の数は増加の一途をたどっています。ただし、給与や福利厚生は企業によって異なり、当然ながらそれらが優れた企業に応募が殺到します。当然、倍率が上昇して狭き門になるわけで、求人数増加＝簡単に就職できる、ということでは決してありません。

どんな人が内定をもらえるのか

- 素直な人
- 裏表のない人
- 元気に挨拶ができる人
- 笑顔が出せる人
- 会話ができる人 (相手の質問の意図がわかる)
- 自分の意見が言える人
- 意欲的な人
- 「返事」「リアクション」のできる人

面接は「会話」です。覚えた内容を暗唱する時間ではありません。面接官の問いかけに適切に答えることのできる力が必要です。限られた時間のなかで、**自分の言葉で、相手に伝わるように話すことのできる生徒**を求めています。

- 【これは良くない】** いますぐ直しましょう！
- ×受付等で声をかけられるのを待っている人
 - ×面接の内容が印象に残らない人
 - ×受験する企業の仕事内容を理解していない人

面接練習の様子を見ていると、答えに詰まったときに面接官が助け船を出すのを待っている生徒が見受けられます。これでは相手に悪印象しか残しません。**あなたの印象は、相手が決めるのです。相手に伝わった内容が全てです。自分の良さをアピールするのは、あなた自身の仕事です。**

トラブルに対応する力

昨年の就職試験では、台風の接近のために日程変更が相次ぎました。「海が荒れて船が出ない」「飛行機が飛ばない」…就職試験前でも、天候は私たちの都合に合わせてくれません。

企業から学校に届いた連絡は、進路指導部→担任→生徒へと伝達されます。しかし、**移動中のトラブルには、自分で対処するしかありません。**事前に連絡先をしっかりと確認しておくことです。

- 【事前に確認を!!】**
- ・受験先企業の電話番号、緊急連絡先
 - ・学校の電話番号(0997-22-1270)

※非常時の連絡に備えて、スマホ・携帯の電池残量にも注意しておきましょう。

面接指導を行いました

8月後半から、ハローワークの担当者の方・教頭先生・進路指導部による面接指導を行いました。今週は、校長先生による面接指導も行われます。

教頭先生は、「企業が求める人材像」について、①明るい人、②素直な人、③喜んで働く人、④みんなと仲良くできる人、と

いう4つのポイントを示しました。そして、面接は受け答えの技術を見てもらうのではなく、人柄ややる気を見てもらうもの。だから覚えたことを読むのではなく、自分が言いたいことをはっきりさせ、それを自分の言葉で伝えることが大切だと話しました。

いろいろな立場の人から面接指導を受けることで、新たに



発見できることが必ずあります。自分から積極的に動いて、面接指導への不安を払拭してください。

光子の部屋

就職支援員・今給黎光子

いよいよ16日から採用試験が始まります。これまでの努力が試される時期が迫り、応募書類の準備、面接練習と毎日がこれまでの日常とは違ってきていますね。最近、大半の皆さんの顔にも少しずつ変化が現れてきています。もうひと踏ん張り、自分の力を出し切れるよう精一杯頑張ってください。

先日の就職試験説明会でも話しましたが、就職試験直前にもう一度自分と向きあってみましょう。今の心構えがすべてに影響してきます。

①身だしなみと挨拶で、好印象を与られます

人はまず第一印象で相手を判断します。試験に赴く際は、必ず制服は洗濯し白いシャツは白くしておくこと。清潔感が大切です。アイロンもかけていきましょう。シャツが汚れていたりシワくちやだったり、ズボンの線やスカートのプリーツがなかったりすると、それだけでだらしく映ります。シワをのばして気持ちもきちんと背筋を伸ばして挑みましょう。親御さんに頼らず、自分で準備して下さい。採用試験からが自立の瞬間と心得て下さい。残りの学生生活も社会人になる訓練の追い込みです。自分の事は自分でやる!!心の準備の始まりです。

また、挨拶という字は、“挨”＝相手の心を開く。“拶”＝開いた心に入っていくことを意味します。元気で印象の良い挨拶は、あなた方の第一印象と人となり表れます。目線の中に入った人とは必ず挨拶をしましょう（アイコンタクト）。



②面接会場だけが面接の場所ではありません

会社や試験会場に入るその前から、試験が始まっていると心して臨んで下さい。

会社の周りをお掃除

している人が実は人事担当者だったり、手の空いた時間に自分の大切な会社をきれいにしておあなた方を受け入れようとする社長さんだったりするかも…極端な話と思わずに、会社の敷地内や試験会場になる場所に一歩足を踏み入れたら、全ての人が面接官と思って取り組みましょう。

これは皆さんの先輩のエピソードです。試験前日に宿泊したホテルで、大きな荷物を持った人が落とし物をしたそうです。その先輩はすぐに笑顔で声をかけ、落とし物をその人に渡しました。

翌日、緊張した気持ちで試験に挑むと、面接会場に昨日落とし物を渡した人が座っていました。その方は自分が受験する会社の面接官だったのです。面接後に改めてお礼を言われたそうです。彼女自身、大変な努力をして試験に臨み、見事採用内定を頂けました。

後日談ですが、赴任前の説明会で「あの時の行動が採用内定に大きく繋がった」と教えてもらった彼女が「今給黎さんから聞いていたことが役に立った」と話してくれました。その時、私も非常にうれしかったことを思い出します。

自分の周りで起こる色々なことに対し、常に興味を持って対応しているかどうか、普段からの「目配り」「気配り」が、面接試験を成功させるために非常に大切です。そして、相手に好印象をもってもらえる為には『笑顔』『目線』『姿勢』が揃っていることが大切です。

面接官は、その人の本当の素の様子を知り、人間性を判断し、職場に馴染めるのか、業務への適性があるかを判断するために質問します。

面接には個人面接・集団面接・グループディスカッションとさまざまな種類がありますが、与えられた場面で『この面接が自分にとって大きなチャンス!!』と捉えて、他のライバルよりも一歩前に出る勇気を持ちましょう。これまでの努力が報われるように、皆さんの健闘を祈っています。

就職に関する今後の予定

9月11日(木) 就職試験壮行会
9月16日(火)～ 就職試験開始